

平成 29 年度

ヒューマンウェアイノベーション
博士課程プログラム

特別選抜生用 別紙履修ガイド

平成 29 年 4 月

履修年限と修了要件および早期修了について

◇履修年限

本プログラム課程の履修年限は5年です。ただし、本プログラム課程の履修は研究科に在籍している必要があります。従って、特別選抜生が研究科を5年で修了する場合には、本プログラム課程を4年で早期修了する必要があります。

◇修了要件

特別選抜生も、本プログラム課程を修了するための要件は同じです。

◇早期履修

本プログラム課程の早期修了のために、特別選抜生には各科目の早期履修を強く推奨します。従って、特別選抜生は各研究科での学年を基準に、本プログラムにおける各学年の該当科目を履修することを強く推奨します（ただし本プログラム初年度、すなわち各研究科2年次には、本プログラムの1年次該当科目および2年次該当科目の両方ともを満たしてください）。各科目の推奨履修学年は下記を参照してください。

◇推奨履修学年

各研究科での学年を元にした、推奨履修学年は以下です。

▼2年次

ヒューマンウェアイノベーション創出論（必修）

ヒューマンウェアセミナーA/B（選択必修）

ヒューマンウェア領域基礎研究A/B（選択必修）*KOANでの履修登録は行わない

ヒューマンウェア領域基礎科目（選択）

ヒューマンウェア融合領域研究A/B（選択必修）

▼3年次

ヒューマンウェア融合領域プロジェクト研究A/B（選択必修）

イノベーション実践演習A/B（選択）

▼3,4年次

インターンシップ（長期）A/B（選択必修）

インターンシップ（短期）A/B（選択必修）

海外インターンシップ（長期）A/B（選択必修）

海外インターンシップ（短期）A/B（選択必修）

▼4年次

ヒューマンウェアPI融合領域プロジェクト研究A/B（選択）

◇推奨履修学年参考表

各研究科での学年を元にした、推奨履修学年表は以下です。なお、各研究科1年次で習得した内容の一部は、本プログラムの目指す博士人材に必要な内容であるため、ヒューマンウェア領域基礎研究の一部またはヒューマンウェア領域基礎科目として考慮されます(次頁以降参照)。

本プログラム 学年		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次
各研究科学年	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	
ヒューマンウェア領域コア 科目	ヒューマンウェア領域基礎 研究		ヒューマンウェア融合領域 プロジェクト 研究 イノベーション 実践演習	ヒューマンウェアPI融合領域 プロジェクト研究		
		ヒューマンウェアイノベーション 創出論 ヒューマンウェア セミナー ヒューマンウェア 融合領域研究				
ヒューマンウェアインター ンシップ			インターンシップ(長期) インターンシップ(短期) 海外インターンシップ(長期) 海外インターンシップ(短期)			
ヒューマンウェア領域基礎 科目	在籍研究科以外の授業科目 2科目以上を含み、12単位 以上					
試験など		Pre-QE	R-QE		最終試験	

各研究科 1 年次修得単位の本プログラムでの取り扱いについて

◇ヒューマンウェア領域基礎科目について

特別選抜生がまだ本プログラムを履修していなかった各研究科 1 年次において、本プログラムのいずれかの年度の履修の手引きにヒューマンウェア領域基礎科目として記載がある科目の単位を修得している場合は、これをヒューマンウェア領域基礎科目に代わる本プログラムの修了要件単位に含める。

◇ヒューマンウェア領域基礎研究について

ヒューマンウェア領域基礎研究が指定する産学講義、企業訪問、ライティングなどの講義を習得することで、所属研究科の既修得単位をヒューマンウェア領域基礎研究に代わる本プログラムの修了要件単位に含める。ヒューマンウェア領域基礎研究の履修登録は行わないこと。

1. 情報科学研究科

情報科学研究科の以下の単位を修得しており、これに加えて本プログラムが指定する産学講義、企業訪問、ライティングなどの講義を習得したと認定された場合は、情報科学研究科の以下の単位をヒューマンウェア領域基礎研究 A（6 単位）に代わる本プログラムの修了要件単位に含める。

○情報数理学専攻：専攻基礎科目【必修】（7 単位）

情報数理学研究Ⅰ（3 単位）、情報数理学演習Ⅰ（2 単位）、及び情報数理学演習Ⅱ（2 単位）

○コンピュータサイエンス専攻：専攻基礎科目【必修及び選択必修】（6 単位）

コンピュータサイエンス研究Ⅰa（2 単位）、コンピュータサイエンス研究Ⅰb（2 単位）及びコンピュータサイエンス演習Ⅰ（2 単位）

ただし、インタラクティブ創成工学基礎演習 A（4 単位）を履修する場合は、コンピュータサイエンス演習Ⅰ（2 単位）に代えて専攻基礎科目【選択】2 単位とする。

○情報システム工学専攻：専攻基礎科目【必修及び選択必修】（6 単位）

情報システム工学研究Ⅰa（2 単位）、情報システム工学研究Ⅰb（2 単位）及び情報システム工学演習Ⅰ（2 単位）

ただし、インタラクティブ創成工学基礎演習 A（4 単位）を履修する場合は、情報システム工学演習Ⅰ（2 単位）に代えて専攻基礎科目【選択】2 単位とする。

○情報ネットワーク学専攻：専攻基礎科目【必修及び選択必修】（6 単位）

情報ネットワーク学研究Ⅰa（2 単位）、情報ネットワーク学研究Ⅰb（2 単位）及び情報ネ

ネットワーク学演習Ⅰ（2単位）

○マルチメディア工学専攻：専攻基礎科目【必修及び選択必修】（6単位）

マルチメディア工学研究Ⅰa（2単位）、マルチメディア工学研究Ⅰb（2単位）及びマルチメディア工学演習Ⅰ（2単位）

ただし、インタラクティブ創成工学基礎演習Aを選択する場合は、マルチメディア工学演習Ⅰ（2単位）に代えて専攻基礎科目【選択】2単位とする。

○バイオ情報工学専攻：専攻基礎科目【必修及び選択】（6単位）

バイオ情報工学研究Ⅰa（2単位）、バイオ情報工学研究Ⅰb（2単位）及びバイオ情報工学演習Ⅰ（2単位）

2. 生命機能研究科

生命機能研究科の1年次のC群研究科目（6単位）を修得しており、これに加えて本プログラムが指定する産学講義、企業訪問、ライティングなどの講義を習得したと認定された場合は、生命機能研究科のC群研究科目（6単位）の単位をヒューマンウェア領域基礎研究A（6単位）に代わる本プログラムの修了要件単位に含める。

3. 基礎工学研究科

基礎工学研究科の以下の単位を修得しており、これに加えて本プログラムが指定する産学講義、企業訪問、ライティングなどの講義を習得したと認定された場合は、基礎工学研究科の以下の単位をヒューマンウェア領域基礎研究A（6単位）に代わる本プログラムの修了要件単位に含める。

○機能創成専攻（非線形力学領域）：基礎専門科目【必修】（6単位）

非線形力学ゼミナールⅠ（1単位）、非線形力学ゼミナールⅡ（1単位）、非線形力学研究Ⅰ（2単位）、非線形力学研究Ⅱ（2単位）

○機能創成専攻（機能デザイン領域）：基礎専門科目【必修】（6単位）

機能デザインゼミナールⅠ（1単位）、機能デザインゼミナールⅡ（1単位）、機能デザイン研究Ⅰ（2単位）、機能デザイン研究Ⅱ（2単位）

○機能創成専攻（生体工学領域）：基礎専門科目【必修】（6単位）

生体工学ゼミナールⅠ（1単位）、生体工学ゼミナールⅡ（1単位）、生体工学研究Ⅰ（2単位）、生体工学研究Ⅱ（2単位）

○システム創成専攻（電子光科学領域）：基礎専門科目【必修】（6単位）

電子光科学ゼミナールⅠ（１単位）、電子光科学ゼミナールⅡ（１単位）、電子光科学研究Ⅰ（２単位）、電子光科学研究Ⅱ（２単位）

○システム創成専攻（システム科学領域）：基礎専門科目【必修】（６単位）
システム科学ゼミナールⅠ（１単位）、システム科学ゼミナールⅡ（１単位）、システム科学研究Ⅰ（２単位）、システム科学研究Ⅱ（２単位）

○システム創成専攻（数理科学領域）：基礎専門科目【必修】（６単位）
数理科学ゼミナールⅠ（１単位）、数理科学ゼミナールⅡ（１単位）、数理科学研究Ⅰ（２単位）、数理科学研究Ⅱ（２単位）

○システム創成専攻（社会システム数理領域）：基礎専門科目【必修】（６単位）
社会システム数理ゼミナールⅠ（１単位）、社会システム数理ゼミナールⅡ（１単位）、社会システム数理研究Ⅰ（２単位）、社会システム数理研究Ⅱ（２単位）